

27. 毎日メディアカフェ:「沖縄から東京へ出前講座! みんなで学ぼうサンゴの海 - 多様なエビ・カニ類を育む沖縄のサンゴ礁」

実施主体名	アラムコ・アジア・ジャパン株式会社
開催日時	3月 1日 18時30分 ~ 20時00分
開催場所	毎日新聞東京本社1階 MOTTAINAI STATION 内
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京近郊在住の方々にもサンゴの海について学んでいただこうと、沖縄県立芸術大学の藤田喜久准教授をお招きし、沖縄のサンゴ礁に見られる様々な微環境と、そこに見られる多様なエビ・カニ類の暮らしぶりをPPTを見せながら講演(1時間)+質疑応答(20分)。</li> <li>会場:毎日新聞東京本社ビル MOTTAINAI STATION 内「毎日メディアカフェ」</li> </ul>
実施状況	<p>【天候】 晴れ</p> <p>【参加者数】 24名 (定員30名;事前申込制)</p> <p>【参加者層】 主に都内に勤務する社会人</p> <p>【参加者の様子・反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者は熱心に聞き入っていた。</li> <li>参加者、メディアカフェ事務局共に総合的な評価は高かった。</li> </ul> <p>【参加者のコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大変面白く、勉強になった。</li> <li>どんなにPCの画面をスクロールしても出てくるカニの種類の高さに驚いた。</li> <li>印象的な画像が多。</li> <li>沖縄に行きたくなった。</li> <li>目に見えない物事に対するリスペクトを忘れないことと、謙虚であることの大切さを違った視点から学んだ。</li> <li>サンゴ中心でなく、それを取り巻く生態系の話が多く、とても興味深かった。廃墟に見える場にも様々な生物が生息し、そこに注目できる着眼点があってこそその発見。その柔軟性や好奇心を見習いたい。</li> </ul>
実施しての所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>「サンゴ」と「サンゴ礁」の違いといった基本的なことから始まり、話が多岐にわたっていたので、初心者入門編としてとても親切な構成と内容だった。</li> <li>「非常に面白い内容で勉強になった」という多数の声。内容は申し分なく、今後はいかに集客するかが課題。</li> <li>数日後に同じく東京で開催された白化に関するシンポジウムとテーマや切り口が異なっていたので、差別化できていてよかった。</li> </ul>

メディアへの掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日新聞（東京版）3月2日朝刊（別添参照）</li> <li>● 毎日メディアカフェ HP イベントアーカイブ欄 <a href="http://mainichimediacafe.jp/eventarc/1318/">http://mainichimediacafe.jp/eventarc/1318/</a></li> <li>● 毎日メディアカフェ フェイスブック <a href="https://m.facebook.com/mainichimediacafe/photos/a.1436003079975415.1073741828.1433260473583009/1841373282771724/?type=3&amp;source=54">https://m.facebook.com/mainichimediacafe/photos/a.1436003079975415.1073741828.1433260473583009/1841373282771724/?type=3&amp;source=54</a></li> </ul>
----------	---

【当日の様子】



**サンゴ礁の生態系学ぶ**  
沖縄から出前講座

**MAINICHI MEDIA CAFÉ**

サンゴ礁の生態系を学ぶセミナー「沖縄から東京へ出前講座！みんなで学ぼうサンゴの海」が1日、千代田区一ツ橋1の毎日メディアカフェ「毎日メディアカ

3月5日の「サンゴの日」に合わせて沖縄県などで開催中の「サンゴ礁ウィーク」のイベントの一つ。サンゴ礁保全に協力しているアラムコ・アジア・ジャパンが企画し、沖縄県立芸術大の藤田喜久准教授「写真」が講演した。

藤田さんはサンゴ礁とその周辺の多様な環境に生息するエビ、カニなどの新種や希少種を紹介。「沖縄には圧倒的な生物多様性があり、調査すれば新種が次々に見つかる。昨年はサンゴの白化が大規模に起こった。有効な防止策はあまりなく、きちんと調査、記録する必要がある」と指摘した。【斗ヶ沢秀俊】

28. サンゴの日記念 沖縄まつり in サンシャインシティ

実施主体名	(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー
開催日時	平成 29 年 3 月 4 日～3 月 5 日 10 時～18 時
開催場所	池袋サンシャインシティ噴水広場 (アルパ B1)
実施内容	<p>※実際に実施した内容を簡単にご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンゴの苗作り体験やタッチプールの設置、サンゴに関するワークショップを開催。イベント会場にてステージイベントや沖縄離島のブースを設け観光情報の提供を行った。</li> </ul>
実施状況	<p>※当日の天候 (野外イベントのみ)、参加者数、参加者層 (親子、シニア、若者、観光客、地元民等)、参加者の様子・反応などを簡単に記述ください。</p> <p>当日の天候：晴れ</p> <p>イベント来場者数：6,943 名</p> <p>客層：ファミリー層を中心とした様々な層</p> <p>参加者の様子：沖縄の海に関する興味が強いと感じた。サンゴに関するワークショップも多くの方に参加いただけた。</p>
実施しての所感	海に興味はあるがサンゴには関心がない方も多いように感じたため、より多くの方にサンゴに関する理解を深め、興味を持ってもらうきっかけ作りを続けていく必要がある。

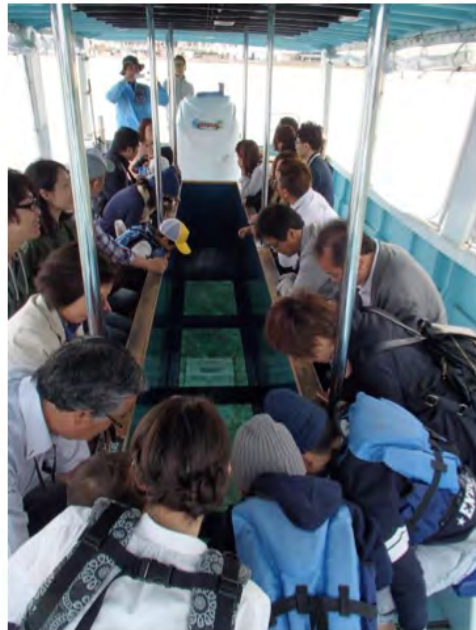
【当日の様子】





29. グラスボートお得意乗船ウィーク

実施主体名	タイガービーチリゾートクラブ
イベント名	グラスボートお得意乗船ウィーク
開催日時	3月1日 ~ 3月17日
実施内容	<p>グラスボート乗船を特別価格にてご案内。          1日平均4便出航（潮位により出航時間変動有り）          通常大人@1,730 小人@860 → 大人@1,100 小人@600（幼児は無料）          グラスボートに乗船し、ポイント到着までの間サンゴについての説明をクイズ形式や図を使用して行う。</p>
実施状況	<p>開催期間中10日間運航。7日間天候不良の為、欠航。          ご家族での参加も多かったが、大人のみでのグループ参加も多かった。          イベント内容、スタッフ対応共に好評価をいただいた。          同イベントが開催されたらまた来たいとの声も多かった。</p>
実施しての所感	<p>環境について興味を持っていただけた方が多かったように感じます。          小さなお子様もサンゴについての説明をクイズ形式にしたことにより、参加しながら楽しんでいただく事ができました。</p>
協議会への要望	<p>年に数回このようなイベントを開催していただきたいです。          各事業所がそれぞれで行うよりも、併せて開催することにより認知度もあがると思いますし、環境保護と集客両方に良い影響を及ぼしてくれるのでは。          さらにスタンプラリーやそれに替わるものを取り入れてゲストが各事業所を回りやすくし、知識を深められるようなツール作り、また事業所同士でも繋がれるような環境を作っていただけたら嬉しいです。</p>



## ○今後の展望

第4回目となるサンゴ礁ウィーク 2017 では、前回から参加団体数、イベント数がともに増加した。2018年は国際サンゴ礁年となっており、世界的に保全活動・普及啓発活動が活発になると考えられるため、次回は参加団体・イベント数のさらなる増加が予想される。そのため、参加団体間の交流や広報支援、イベント同士の連携など、より効果的・効率的に実施するための取り組みが重要となる。また、課題となっているサンゴ礁ウィーク全体の認知度向上については、各種メディアや団体と協力して沖縄県内外への情報発信を継続的に行い、国際サンゴ礁年と連動して認知度向上を仕掛けていく。

2016年の沖縄近海で確認された広範囲に渡る白化現象が全国的にニュースとして取り上げられたことで、サンゴ礁分野の普及啓発を全国的に行う重要性が改めて認識された。当協議会の活動を含めてサンゴ礁ウィークの取り組みをより広く周知していくことで、当初より目標としている自発的なイベントの実施によって成り立つサンゴ礁保全推進週間としての確立を引き続き目指していく。

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 行政棟 4 階

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会事務局  
(沖縄県環境部自然保護課内)

電話番号：098-866-2243

メール：coralreef@okikanka.or.jp

